

営農技術情報

～トマト育苗～

平成29年 3月 17日発行

日高農業改良普及センター日高西部支所
Tel.01457-2-2055

1 きめ細かな育苗管理の実施を！

トマトの育苗管理は第3花房までの花芽が分化する最も大切な時期です。温度管理、水分管理を生育ステージにあわせてこまめに管理しましょう。

表1 鉢上げから定植までの管理

移植後 日数	23	25	30	35	40	45	50	55 (日)		
葉数	・2.3枚		・3枚	・4枚	・5枚	・6枚	・7枚	・8枚	・9枚	・10.5枚
気温	昼	20～25℃							外気温と同じ	
	夜	16～18℃ 14℃以下で生育が停滞	16～18℃ 16℃以上で徒長	12～14℃ 12℃以下で奇形果が発生				ハウス内気温と同じ		
地温	昼	18～20℃							外気温と同じ	
	夜	16～18℃							ハウス内気温と同じ	
鉢ずらし	・1回目					・2回目				
管理										
灌水量	(1鉢当たり)		0.8L	0.1L	0.1L	0.1L	0.8L	0.2L	0.2L	0.2L

2 アブラムシ類、ハモグリバエ類の発生に注意！

3月以降、晴天が続いています。一部のは場でアブラムシ類やハモグリバエ類が育苗に寄生しているのが見受けられます。早めに対策しましょう。

- (1) 黄色い粘着板の設置
育苗ハウス（100坪）へ20～30枚設置し発生動向を確認する。
- (2) 早期発見・早期防除
育苗に寄生しているのを確認したら早めに防除を実施する

①アブラムシ類対策

- ・サンクリスタル乳剤 300倍 ー
- ・モスピラン顆粒水溶剤 2000倍 3回
- ・ウララDF 2000倍 3回

②ハモグリバエ類対策

- ・マッチ乳剤 2000倍 4回
- ・スピノエース顆粒水和剤 5000倍 2回



<アブラムシ類が寄生>

※ 農薬を散布する際には、ラベル等を必ず確認し、作物登録、希釈倍率、使用回数、散布水量、有効期限などを守って適正に使用しましょう。

農薬使用基準は遵守しましょう！